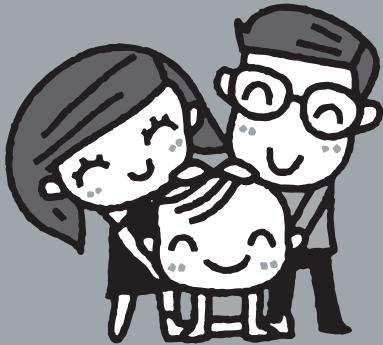


いわて子育てネット ニュースレター

いわて子育てネットは..

- お母さん、お父さんの子育てを応援します。
- 親育ち、子育てを応援します。
- 子育て中の親はもちろん、子育てサークル、子育て支援団体、医療機関、行政、企業、社会をネットワークし、楽しく安心してできる子育て環境の向上をめざします。



vol.9
2007.09.01.

NPOと行政の協働による
「こんにちは、赤ちゃん」事業の実践 **1**

「子育てママの底力」支援事業
子育てママによるニュースレター制作
子育てドクター談話室
子育てサークルリーダー講習会 **2**

子育てから見たまちづくり
街はステージ、主役は皆様
子育てとまちづくり **3**

海外視察報告 ②
いわて子育てネット 会員募集 編集後記 **4**



(写真:「こんにちは、赤ちゃん」事業イメージ)

NPOと行政の協働による

「こんにちは、赤ちゃん」事業の実践

昨年、「こんにちは、赤ちゃん」産褥時の家事・育児・託児支援モデル事業（岩手福祉基金）を自主事業で行いました。日ごろつどいの広場やサポートセンターに遊びに来る親子を見て、もっと早い時点で子育て情報が届いていればもう少し子育てを楽しく感じてくれたのではないかという思いと、このような場所に出て来られない親子を憂慮し、産褥時のサポートをしながら子育て支援拠点などの子育て支援情報を届けようというものでした。提言として、本格的な事業展開の必要性ともっと広域的に行うためには行政やその他複数のセクターとの連携と協働をあげました。

時を同じにして、国でも市町村を実施主体に「こんにちは赤ちゃん事業」と銘打って生後4ヶ月の赤ちゃんがいる全戸訪問事業を打ち出し、実施計画作成を平成20年から21年としています。

そこで、盛岡市市民活動推進課の「公募型協働推進事業」を呼び水に、NPOと行政の協働による「こんにちは、赤ちゃん」事業推進を盛岡市に提案しました。また、盛岡市もそれに応えました。

NPOには子育て支援をしたいという熱意と機動力があっても、民間が各家庭に入る難しさ、専門性の不足があり、行政には人員不足などがあり、片方だけでは全世帯訪問は難しいです。NPOの思いと国の施策を推進し目的達成のためそれぞれの得意を出し合い、その協働の形をデザインし、実践につなげようというものです。9月27日には、「こんにちは、赤ちゃん」事業の協働実践に向けてワークショップが開催されます。

事業内容

- 協働のワークショップ開設
- 先事例の視察（世田谷区）
- 産褥時サポート研修
- 家庭訪問に向けての研修
- 協働による「こんにちは、赤ちゃん」事業家庭訪問実習
- アンケート調査

NPOと行政の協働による「こんにちは、赤ちゃん」事業の実践

「協働に向けての 課題と対策ワークショップ」

期日：9月27日（木）

時間：13時00分～16時30分

会場：プラザおでって3F大会議室
(岩手県盛岡市中ノ橋通一丁目1-10)

盛岡市次世代育成支援事務局から事業説明を受け、ワークショップを行います。事業に対する理解を深め、事業実践に向けて、意見を出し合います。対象は、保健士さん・助産師さん・子育て支援団体ほか、本事業に関心のある方。お問い合わせ・お申し込みは、いわて子育てネット事務局まで。

「子育てママの底力」支援事業

前号でもお伝えした通り、現在、財団法人岩手県福祉基金より助成を受け、『「子育てママの底力」支援事業』を推進しています。事業の目的は、子育てママの潜在的な能力を引き出すこと、社会参画の機会を提供することです。内容は3部構成。それぞれの進捗・成果をご報告いたします。

<子育てママによるニュースレター制作>

13名※の「ママさんライター1期生」の手で、「盛岡市つどいの広場」を中心としたニュースレターを制作。5月29日より、週1回・全10回のスケジュールで活動し、7月31日に発行しました。全10回の平均出席率は、なんと90.4%。このことから、1期生の皆さんの意欲と、お子さんの健やかさが伺えます。1期生の顔触れは、編集経験アリ、レポーター経験アリ、イラスト上手、カメラ上手、パソコン達人などなど、実に多彩。そんな子育てママたちの今後の活躍に、期待せずにはられません。

報告

ニュースレターの名称は、親子の「安・近・短」ガイド『てとて』。子育て中のママ・パパの鞆に、ぜひ忍ばせていただきたい逸品です。お求めは、右記の施設またはいわて子育てネット事務局まで。

- 配架施設 -

- 盛岡市つどいの広場KOKKO
- もりおか女性センター
- 子育てサポートセンター
- 盛岡市保健センター
- 盛岡市内の公民館（8箇所）
- 盛岡市内の図書館（3箇所）

（敬称略・順不同）

※ ご都合で途中脱退なさった方があり、最終的に11名となりました。

<子育てドクター談話室>

専門の医師を招き、診療室ではなかなか聞けない話を伺います。全6回

報告 募集 予告

のシリーズで、小児歯科編を皮切りに、産婦人科編、眼科編、皮膚科編、小児科編、精神科編と続きます。

去る6月16日、小児歯科編を開催しました。むし歯の要因、むし歯菌の活動リズム、年齢別の歯磨きのコツなどを学び、日頃の悩み・疑問を打ち明け合いました。参加者は7名。他者の言葉に相槌を打ったり、医師の言葉をメモしたり、とても熱心な様子でした。

今後の予定は、下記の通りです。ぜひご参加ください。

- 申込受付中 -

9月15日 産婦人科編 ~あたらしい生命とともに
(村井産婦人科医院 院長 村井軍一先生)

- 今後の予定 -

- 10月25日 眼科編 (松田眼科クリニック 理事長 松田恭一先生)
- 11月17日 皮膚科編 (中村・北條クリニック 院長 中村浩昭先生)
- 1月19日 小児科編 (みうら小児科 院長 三浦義孝先生)
- 2月16日 精神科編 (岩手晴和病院 理事長 智田文徳先生)

(写真：ニュースレター制作の様子)



(写真：ニュースレター制作の様子)



(写真：ニュースレター親子の「安・近・短」ガイド『てとて』)



(写真：子育てドクター談話室の様子)



(写真：子育てサークルリーダー講習会の様子)

<子育てサークルリーダー講習会>

子育てサークルを円滑に運営できるよう、ノウハウを伝授します。7月20日・27日は、意見集約をテーマに開催。参加者は計7名。サークル運営の悩みを解消しながら、意見集約のコツを習得しました。

報告 予告

次回は、広告・広報のコツ、周知のコツを学びます。

- 申込受付中 -

9月25日 サークルマネジメント～みんなの活動の伝え方
プロの広報講座 in 大通
(アイーナ事業運営チームリーダー 小原右次氏)

子育てから見た まちづくり



(写真：7月開催「なつまつり」の親子連れ)



街はステージ、主役は皆様

商店街は、地域のコミュニティ広場として重要な役割を担っており、地域の文化・歴史を継承する一方で新たにそれらを構築する場でもあります。また、生活空間の場として、その地域の顔となり、地域の独自の薫りが醸し出される取り組みが大切となります。

大商店街として、いわて子育てネットの皆様の活動は、前述したことの象徴であり、先日開催された「なつまつり」、昨年の「ミニ運動会」等、当商店街に話題作りと賑わい作りで大きな成果をいただきました。何よりも喜ばしい事は、参加された皆様方の心の1ページに、街での家族の交流の思い出として掲載されたことであり、大変素晴らしいものと感謝しております。今後も、大通商店街を皆様のステージとしてご活躍いただきたいと思っております。

阿部利幸（盛岡大通商店街協同組合 事務局長）

イベント ボランティアスタッフ

募集

9/9

盛岡大通商店街の歩行者天国で、『ちびっ子たちのK O K K O (こっこ)運動会』を開催します。ただいま、ボランティアスタッフを募集中！お問い合わせ・ご応募は、いわて子育てネット事務局まで。

日時：9月9日(日)10時00分～15時00分
支給：昼食 ※ 事前説明会開催予定

街の中にハード面でもソフト面でも子育てにやさしい取り組みが自然に備わっているそんな街は、人を大切にしていることが分かります。また、多くの人がやさしくつながっていくその街の未来を感じます。そんな街に私たちは住み続けたい。当法人では、子育ての視点で街づくりを提案しています。

子育てとまちづくり

コラム

中心市街地活性化法が施行されてから早や九年、そしてこの度のまちづくり三法の改正によっていよいよ具体的に動き出してきた。百貨店協会が三年前から「地域商業活性化プロジェクト」を立ち上げ地方都市の先進事例を学んでいこうと、いままで青森市、宮崎市、高松市、水戸市等の中から特に注目すべき事例として宮崎市がある。

訪れて一番印象的だったのは徹底したイベントに対する取り組みだった。あらゆる「事起し」を行っていかうと。人が集まる仕掛けを最優先に考える。中でも子供の集まらない所ににぎわいはないと断言していたこと。子供が集まると云うことは親がついてくる、二世帯、三世帯が集まることによって老若男女が集う。そこに力を入れていることだった。また地元の百貨店に入ってこれまた驚き。商店街と一体となって「〇〇教室の開催」「ちびっこ広場」等、そしてサンリオの〇〇ショウが華やかに行われており、まさに子供の楽園という感じであった。

その足で案内されたのがまちなかの空き店舗を利用した子育て支援の教室だった。幼稚園はお昼過ぎくらいに終了するが、引き続き子供を預かってほしいという要望に応えていきたいとのことだった。考えてみると女性の社会進出、仕事を持つ親が安心して子供を預けられる場所があったらこんなに便利なことはない。中心市街地に保護者同士の交流の場、共に助け、共に楽しむと言う人間関係が築かれることがそもそもコミュニティであろう。

まちづくりにとってこの子育て支援の果たす役割は大変大きい。行政や商店街関係者の知恵と工夫によって国からの支援事業費を活用し、ソフト事業の充実が求められる。これからはまちの個性が大切。どんなまちにしたいか、ビジョンをしっかりとみんながそのことを共有していかなければならない。

今回の視察でまちづくりが成功する三つの条件として一つには首長（市長）の強力なリーダーシップ、二つ目に商店街の意思統一とやる気、三つ目に推進母体のリーダー存在であった。そしてつくづく考えさせられたのはまちなかから郊外に公共施設を安易に移転させないよう働きかけることの重要さと、まちづくりは業種構成を含めて自由放任主義で行うべき分野ではなく、計画性と秩序あるバランス感覚が大事であると考えさせられた。

吉田浩次（株式会社川徳 常務取締役）

② デンマーク・コペンハーゲン市「Tyttebovsen 幼稚園」



国家全体で子供の遊びを尊重しているデンマークでは、コペンハーゲンの空港でも有名な「レゴ」社の製品が至る所に配置されていた。「自己決定」と「自己責任」がデンマークの子育て理念と聞いた。なるほど、園に入ると、各部屋のコーナーのソファや、おままごと、作業台などで子どもたちがそれぞれ自由に過ごしていた。おやつも、昼食も大まかな時間の目安だけで、子どもが食べたいときに食べたい量を取らせているようだ。主体性を脅かす一斉保育はなされていないようである。先生はというと目立たないように子どもたちに紛れていた。

今、デンマークは建築ラッシュで、各国から労働者が入国しているのだそうだ。園では、半数以上が海外から来た子どもたち。アフリカ、中国、中近東と多国籍の子どもがいることで、相

違点を見つけながら自分とは何か、自分を学び取ることが大切と考えている。言葉が通じないながらも視覚的に見える形でのコミュニケーションのとり方で言語の発達と相互理解を深める。

園のコンセプトは次の3つです。

- 1、子どもの幸せ感を大切に。
- 2、社会性を身につける。
- 3、各子どもにあわせた長期的な目標を設ける。

園児一人ひとりの成長がわかるようにアルバムが制作されていた。

部屋はコーナーをつくり家庭的な雰囲気をかもし出し、全体的に落ち着いていた。ちょっと暴れた子どもには暴れる部屋があって元気に遊んでいた。

子どもたちの小競り合いに、先生は静かな声でじっくりと話しかけていた。

Tyttebovsen 幼稚園

- 1972年開園 ■ 時間 6:50~17:00
- 園児56名 (2歳~6歳)
- 3クラス (各クラススタッフ2名)

両川いずみ (いわて子育てネット 副理事長)

賛助会員(個人) 渡辺秀華、根本瑩子、馬場より子、高橋雪文、樋下正信、小野寺好、飯澤匡 **賛助会員(団体)** マタニティクリニック小児産婦人科、有限会社バルーン・スケッチ、有限会社ティーシーアイ、医療法人さくら会さくらウィメンズクリニック、夕顔瀬産婦人科医院、西島産婦人科医院・西島こどもクリニック、黒川産婦人科医院、アイクレオ株式会社仙台営業所、特定非営利活動法人わこの家、小林産婦人科医院、岩手ヤクルト販売株式会社

特定非営利活動法人 **いわて子育てネット**

正会員(個人) 50 正会員(団体) 3 プレ会員(個人) 5 プレ会員(団体) 4

理事長 村井軍一 (村井産婦人科医院院長)
副理事長 両川いずみ (ヒューマンステーション主宰)
兼事務局長
理事

吉田耕太郎 (産科婦人科吉田医院院長)
 三浦義孝 (みづら小児科院長)
 若林みどり (桜城・松園児童館指導員)
 今松晴美 (上米内児童館指導員)
 智田文徳 (岩手清和病院理事長)
監事 黒川賀重 (黒川産婦人科医院院長)
顧問 小林 高 (小林産婦人科医院院長)
 長山 洋 (岩手県立大学社会福祉学部教授)
 高橋雪文 (岩手県議会議員)
 関根敏伸 (岩手県議会議員)
 樋下正信 (岩手県議会議員)
 小野寺好 (岩手県議会議員)
 飯澤 匡 (岩手県議会議員)
 工藤大輔 (岩手県議会議員)
 三浦陽子 (岩手県議会議員)



会員募集

詳しくは事務局まで

年会費	個人	団体
正会員	3,000 円	5,000 円
プレ会員	1,000 円	
賛助会員	10,000 円 (一口)	

編集後記

秋涼の候、ニューズレター第9号が出来上がりました。前号で募集していた、盛岡市つどいの広場の愛称。お陰様で、決定いたしました。その名も「K O K K O(こっこ)」です。7月29日開催の『盛岡市つどいの広場「なつまつり」』にて、発表と表彰式を行いました。多数のご応募・ご投票、誠にありがとうございました。盛岡市つどいの広場スタッフ・いわて子育てネット事務局スタッフ一同、大変感謝しております。

MK(事務局)

編集・発行

特定非営利活動法人いわて子育てネット

〒: 020-0022
 ADD: 岩手県盛岡市大通二丁目6-8
 セントラルガーデンスクエア506
 TEL: 019-652-2910 FAX: 019-605-8272
 E-MAIL: info@iwate-kosodate.net
 URL: http://www.iwate-kosodate.net/